

## 第77回卒業式 学校長のことば（式辞）

三枝園の木々のつぼみもほころび始め、春の息吹が感じられるこの佳き日に、多数のご来賓の方々、保護者の皆さまをお迎えして、神奈川県立上溝高等学校第77回卒業式を挙行できますことは、卒業生はもとより在校生、教職員にとりまして大きな喜びでございます。

本日、ご臨席を賜りました皆さま方には、日ごろから本校の教育に深いご理解と温かいご支援をいただき、さらには巣立ちゆく卒業生の門出にあたり、前途を祝していただきますことに心からお礼申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与しました235名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうでございます。卒業にあたり、皆さんに二つのことをお伝えします。

**一つ目です。**「卒業証書」の真ん中には、「皆さんが高等学校の課程を修了し卒業した。」ということが大きく書かれてあります。その日は、今日、令和7年（2025年）3月3日です。

皆さん、一人ひとりが、三年間、たゆまぬ努力を積み重ねてきた結果であることは言うまでもありません。その努力に対し、敬意を表し、心から拍手を送ります。

人生の中で、いくつかの節目というものがあります。今日は、その節目の一つなのです。次へのステップの節目なのです。

皆さんは、本日の卒業を機に、「高校時代」というステージから、次のステージへと歩みを進めていきます。実際には大学や専門学校へ進学し、より専門的な勉強をされるわけがありますが、その道は、実にさまざまです。皆さんは今、未知の世界に対する不安と緊張感、そして自分で道を切り拓いていくという高揚感とに包まれていることでしょう。高等学校を卒業したという意味を心の中に刻みこんでください。人生は節目があるからこそ、次の成長があるのです。

今日を境に、皆さんは新たなスタートをします。人生は、まさにこれからです。

**勇気と自信を持って、すばらしい人生を歩んでほしいです。**

作家の五木寛之さんは著書『選ぶ力』の中で、「人生とは選択の連続である。生きるとは選ぶことである。自分がどの道を選ぶかは、その人の責任で選ぶしかない」と述べています。どのような道であっても、自分を生かせると思える道を信じて、進んで行ってほしい。皆さんには無限の可能性があります。自分を信じ、自分の可能性に賭ける勇気と決断が、これからの人生を切り拓いていくのです。しっかりと前を見据えて、自分の選ぶ道を堂々と歩いて行ってください。

二つ目です。「温かい思いやりの心を大切にし、豊かな人間性を備えた人になってほしい。」ということです。「卒業証書」の冒頭には、皆さんの名前が書かれています。それは、皆さんが保護者の方からいただいた最も短く、そして最も端的な心からのメッセージです。ご自身のお名前に込められた保護者の方の深い思いに今一度、向き合ってください。

大切なお名前、だからこそ、今日の担任の先生からの呼名でも、「さん」付けをするようにしました。皆さんの「個」や「人権」を尊重する上からも必要なことと考えています。

その次には、誕生日が書かれています。皆さんは、その誕生日から今日まで、生きてきました。今日までの歳月にどうぞ思いを馳せてみてください。

どれほどの方に、どれほどのことをしてもらってきたでしょうか。

夜泣きをして、皆さんが寝付かない時、ずっとそばにいてあやしてくれたのは誰ですか。

朝、なかなか起きられない時、大きな声で起こしてくれたのは誰ですか。

入学式の時、制服やかばんを用意してくれたのは誰ですか。

風邪やインフルエンザで熱が出た時、一番心配してくれたのは誰ですか。

あなた方の命が生まれた日から、たくさんの方々があなたを見守ってくれました。

人は、一人では生きていけません。さまざまな人と人との関わりの中で、自分というものの、自分という存在のあり様をそれこそ日々見い出しながら生きています。困難にぶつかった時、人と人とのネットワークの中で問題が解決されることも多くあります。人への思いやりは、他の人を幸せにするだけでなく、自らも幸せにします。皆さんがこの上溝高校で培った仲間との友情を一生の宝として、より一層人間性豊かな人へと成長して行ってください。

そうした中で皆さんには、かけがえのない仲間といつも皆さんのことを心にかけて、幸せを願っている人がいるということをご忘れないうでください。

終わりになりますが、保護者の皆さま方にはお祝いとお礼を申し上げます。本日は、お子様のご卒業、誠におめでとうございませう。

お子様の健やかな成長を願って支えてこられた皆さまには、さぞやご苦勞も多かったことと思ひます。

今日の佳き日を迎へ、立派に成長されたお子様の姿に感慨もひとしおのことと存じます。教職員一同、心よりお喜びを申し上げます。今日まで、本校にお寄せいただきましたご支援、ご協力を深く感謝を申し上げます。

また、本日、ご多用の中、ご臨席を賜りましたご来賓の皆さまには重ねてお礼を申し上げ、今後とも本校の教育に益々のお力添えを賜りますようお願ひを申し上げます。

すばらしい生徒の皆さん、77期生とともに上溝高校で過ごせて幸せです。

卒業生の皆さんの前途に幸多からんことを祈念いたしまして学校長のことば（式辞）いたします。卒業おめでとう。

令和7年3月3日

神奈川県立上溝高等学校長 内田 勝久